



エコマーク認定企業 Interview

## 【株式会社エコリカ】

# より厳しい品質基準は 自信の証し

第1回エコマークアワード銀賞を受賞したエコリカの「エコリカ・リサイクルインク」は、使用済みインクカートリッジを再利用する循環型ビジネスモデルを確立した画期的な製品。幾多のハードルを乗り越える原動力として、エコマークをどのように活用しているのか、宗廣社長に伺った。

10年以上前のことですが、商用で訪れた米国では既にリサイクルインクが売られ始めていました。しかし、日本ではプリンターのインク・カートリッジは、使い終わると消耗品として廃棄処分されるだけ。常々もったいないと感じていた私は、日本でこの事業を立ち上げることを決意し、純正メーカーのカートリッジを回収して再利用するというビジネスモデルを考えました。

充填するインクを製造するインク工場は大手メーカーの製造を請け負う企業でもあったので、品質については絶対的な自信がありました。ところが、エコリカの製品はなかなか量販店で扱っ

てもらえない。そんな時、ある大手販売会社の方から「エコマークを取得すれば当社のグリーン購入法適合品のカタログに載せられる」というアドバイスを頂き、2005年にエコマーク認定を

取得し、ようやく取扱店も増えていきました。さらに海外からの粗悪品との差別化のために、環境省とも連携して、より厳しい品質基準を策定し、2008年に「再生インクカートリッジ」というエコマークの新しいカテゴリーの第1号認定を取得したのです。以来、エコリカのリサイクルインクにはすべてエコマークをつけることを基本にしています。

現在、当社では専用の回収ボックスで年間2500万個以上のカートリッジを回収しています。その約40%はリユースできませんが、すべて粉碎して物流パレットなどに「マテリアルリサイクル」しています。コストは自前ですが、この完全な循環型のビジネスモデルこそが私たちの存在意義なのです。2013年には当社のLED電球が、エコマーク初となる認定を受けましたが、「人と地球に貢献」という社是を、これからも形にしていきたいですね。



代表取締役社長

むねひろしゅうぞう

宗廣宗三氏

### 株式会社エコリカ

本社所在地：大阪市浪速区下寺2-1-5

設立：2003年7月1日

事業内容：●インクカートリッジのリサイクル事業

●トナーカートリッジのリサイクル事業

●オフィス用品・PC周辺機器事業

●環境負荷低減コンサルティング



使用済みインクカートリッジのリユース・リサイクル事業  
全国の家電量販店の店頭などに設置した「エコリカ回収BOX」で使用済みのインクカートリッジを回収。「インクの抜き取り→内部の清掃・点検→オリジナルインク充填→ICチップのリセット→インク漏れなどのチェック→外部クリーニング」という工程を経て、リサイクルインクとして再利用する独自のシステムを実現。

お問い合わせ先

株式会社エコリカ

TEL.06-6630-3301

<http://ecorica.jp/>